

事業報告書

【「産前産後の母体ケアとパートナーの役割」について】

| | |
|----------|--|
| 日時 | 令和6年2月24日(土) 受付13:30 開始14:00~16:00 |
| 目的 | 働き方も変化が必要といわれる時代、妊婦のパートナーが「長時間労働」の働き方では、家事や育児などの「分担が困難」です。お互いの「育児休業期間」を実り多いものとするため、家庭での役割や必要な知識、妊婦体験を学ぶ機会とする。 |
| 対象 | 関心のある方 |
| 講師 | 井上 松代 氏 (県立看護大学・大学院 母性保健看護・助産 准教授) |
| 会場 | 沖縄県男女共同参画センターていりる3階 研修室1・2 |
| 定員 | 40名〔定員に達し次第締切〕 |
| 参加者数 | 15名(うち男性9名) |
| 講演内容(概要) | <p>「産前産後の母体ケアとパートナーの役割」について 講話：井上 松代 氏</p> <p>初めに妊婦と・胎児の心の変化があり、それは「親になる準備」であり、妊婦が経験するつわりや腰痛などが代表的で、パートナー側にもその適応過程があること等を話されました。その後、産後の母親と赤ちゃんの身体と心の様子の「親になる過程」へと続き、授乳や産後の生活を経て「親子のきずな」を育むことになるとのことです。またパートナーは直接育児に関わる事で、これまでの生活習慣の修正がなされるとのことでした。</p> <p>また妊婦や赤ちゃんの環境に関わる影響として「長時間労働や喫煙・受動喫煙」のリスクについて話され、それを回避するための「育児休業制度」について触れ、長時間労働の健康被害、喫煙・受動喫煙による、ヒトの健康、妊娠予後、胎児の成長、小児の成長・健康などに様々な悪影響を及ぼすことについて触れられ、喫煙から生じる有害物質を吸い込むことで起きる三次喫煙(サードハンド・スモッキング)についても説明されました。</p> <p>その後参加者は、妊婦ジャケットを着用した妊婦期疑似体験では、日常生活を通常通り行うことの困難さ(靴下を履く、食器を洗う、階段の上り下り、起き上がる等)を実感し、首がすわらない時期の赤ちゃん人形で、首を支える抱き方等を体験しました。</p> |
| 参加者の声 | <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の靴下を履いたり、起き上がったたりするのは大変だなと感じた。 ・父親にも産後に心理的变化がある。 ・児は親の心情を察することができる。胎児期からの声かけや母親をサポートする姿勢など、周囲のサポートが大切だと理解できた。 ・赤ちゃんを抱く体験、妊婦体験が参考になった。妊婦体験できたのは大きい。妊娠中の妻の目線になって考えることができ、気づいていない点も発見できて、良かった。 ・ちゃんと講座を受けたのは、初めてだった。講師だけでなく、参加者などの姿勢なども見て聞いて、私自身もっと学ばなければいけないと思った。 ・妊婦と協力して出産に立ち会えるように、日頃から助け合う。 ・妊婦疑似体験はリアルに皆さん楽しく参加されていて、傍から見てパートナーへの思いやりにつながっているように感じました。 ・パパも家事や育児を積極的に行っていこうと思いました。 ・今後もこの活動、続けてください。 ・分かりやすく、丁寧でした。ありがとうございました。 ・段取りがイマイチ。資料の確認は、挨拶及び講義前に行うべき。 ・ご準備ありがとうございました！！ |

写真



▶ご講話の様子：井上 松代 氏



▶会場の様子①



▶会場の様子②

▶質疑応答：会場からの質問の一部を紹介します。質問カード計2枚

- ・人工甘味料は飲食しない方が良いですか？
甘味料が含まれる食品が多い中で、人工甘味料の赤ちゃんへの影響が気になっています。
- ・パートナー(特に男性)と赤ちゃんと一緒に遊べる「おススメ」の遊びをご教授下さい。
- ・妊娠中に手術した場合のリスクについて、手術後、特に気を付けることは？
- ・最悪の場合のパートナーのケアについて
- ・上手な育児休業期の取得方法について
- ・親子手帳(母子手帳)を持っているときのサービスとかありますか？

主催等

沖縄県・(公財) おきなわ女性財団